

中国・四国広域がんプロフェッショナル養成コンソーシアム
第6回がん看護専門看護師コースWG講演会

最新の疼痛マネジメントの実際と
がん看護専門看護師の果たす役割
～がん化学療法を受けている患者を中心に～

がん患者にとって、疼痛を適切にコントロールされているかどうかは、その人のQOLを左右する重要な問題です。特に化学療法を受けている患者は治療に関連した不快症状や不安などが重複しているため、高度な看護実践力が求められます。

今回の「中国・四国広域がんプロフェッショナル養成コンソーシアム」では、がん患者に対する疼痛マネジメントに関する新しい知識やケア方法について学習の機会を提供すると同時に、がん看護専門看護師の役割や活動についても理解を深めて頂ける場にしたいと思います。

講師: 田墨恵子氏

大阪大学医学部附属病院オンコロジーセンター
看護師長・がん看護専門看護師

日時: 平成21年1月25日(日): 13時～15時

場所: 徳島大学医学部保健学科4階 大講義室

参加費: 無料

主催: 中国・四国広域がんプロフェッショナル養成コンソーシアム

お問い合わせ・申込先: 雄西智恵美(おにしちえみ)

FAX: 088-633-9026 conishi@medsci.tokushima-u.ac.jp

*当日参加も受け付けていますが、資料等の準備のためできるだけ事前申し込みにご協力お願いします。